

鳩吹山ともの会

10

年のあゆみ



10周年を迎えるにあたり

環境保護ボランティア団体、「鳩吹山ともの会」は平成15年4月に設立しここに10周年を迎えることができました。これも偏えに会員各位並びに関係者皆様によるご理解ご協力の賜物でございます。心より敬意と感謝申し上げます。

顧みますと、ともの会誕生よりこの方いろいろ試行錯誤を重ねながらも、会員一同の想いと行政その他関係する多くの皆様のご理解、ご支持が相俟って次第に充実し達成感を味わう昨今となりました。

また、諸活動の実施にあたっては実効と安全性を考え会規約を定めたほか、可児市制定のパトロール要綱を守り、さらに独自の事故対処のマニュアル化も実施しました。一方市指定絶滅危惧種植物「シデコブシ」の保存活動に参画し、岐阜大学名誉教授・林進様ご指導のもと、市、地権者と共に可児市の天然記念物の指定を受けるなど、期待される自然保護と人との共生に心して参りました。

私達は現在90余名の会員で分野別に5つのグループ(環境保全、自然保護、登山、パトロール、地域支援)に分け互いに連携し相乗効果ある体制を推進しております。

最後に私達の”貧者の一灯”活動が地域をはじめ多くの皆様にご賛同を賜われますよう努めて参ります。どうか今後とも倍旧のお力添えをお願い申し上げ、加えて皆様のご健勝、ご多幸をお祈りしご挨拶と致します。



名誉代表 三宅健治

会設立よりH25年4月まで三宅健治が代表を務めたが、H25年5月より名誉代表となり、代表には吉田博行が就任した。

目 次

1. 10周年記念行事(「シティホテル美濃加茂」に於いて)	2
2. 鳩吹山ともの会の現状と発展のために	4
3. 鳩吹山ともの会の活動状況	
環境保全グループ	4
パトロールグループ	5
地域支援グループ	5
登山グループ	6
自然保護グループ	6
4. 鳩吹山域の概要	7
5. 鳩吹山遊歩道	7
6. 鳩吹山の呼び名の変遷	8
7. 昔の鳩吹山はどんな山	8
8. 「鳩吹山ともの会」設立に至った経緯	9
9. 「鳩吹山ともの会」設立/帷子公民館	9
10. 鳩吹山・大脇遊歩道整備	10
11. 北回り・滝上部遊歩道整備	11
12. 真禅寺遊歩道整備	12
13. 西山遊歩道整備	12
14. 鳩吹山遊歩道の緑化活動	13
15. 自然保護活動	16
16. 大脇登山口・清掃活動	17
17. カタクリ口・山座川・清掃活動	17
18. 自然観察	18
19. 地域支援活動	20
20. 鳩吹山位置表示板設置	22
21. 鳩吹山の出来事	22
22. 遊歩道・標識看板	23
23. 鳩吹山と周辺の写真展示会	24
24. 鳩吹山遊歩道自然環境保全事業等連絡会	25
25. シデコブシ自生地保全活動	26
26. 鳩吹山ともの会の登山記録	28
27. 「鳩吹山ともの会」の主な出来事(年表)	30
28. 「鳩吹山ともの会」の組織の変遷	31

平成25年5月12日(日)



鳩吹山ともの会・創立10周年記念

第1部
式典・記念講演 10:00~12:00



鳩吹山ともの会の
ホームグラウンド
鳩吹山

出席者	会員 (氏名は下記)	39名
	一般 (")	2名
来賓	可児市・市長	富田成輝 氏
	土田財産区管理会・会長	吉川秀樹 氏
	石原55軒持山管理会・会長	三宅 等 氏
講演	日本山岳協会・副指導委員長	瀧根正幹 氏
	計	45名



来賓、富田・可児市長の挨拶



可児市長・富田成輝氏



土田財産区
吉川秀樹氏



石原55軒持山
三宅 等氏



挨拶をされる、三宅・名誉代表



記念式典の
受け付け



三宅・名誉代表



吉田・代表

〈会員〉 三宅健治、吉田博行、吉田正成、田口悦造、安藤和義、田中啓業、山田栄雄、佐藤正行、早津溢子、那須勝子、深津君子、高島勝、河合麓、武田昭次、小川芳満、吉田勝子、藤原純子、相羽清、佐良木茂、小林康信、伊藤健二、舟橋敏彦、相羽里恵子、徳光とみ、山口昭美、増田忠昭、清水静夫、吉田金吾、吉野利宏、清水美恵子、本田美恵子、江崎芳子、鬼木博文、三宅冬樹、田中巖、笹崎三雄、鈴木貞子、田中和子、寺島さつき

〈一般〉 佐藤誠、勝野準生 (順不同)

瀧根正幹氏の記念講演 感動の山・危険な山・喜びの山



プロジェクターを使い、海外の山の登山体験から山の安全について講演をされる瀧根正幹氏

第 2 部
祝賀会 : 12:00~14:00
余興--- あすなろの会(唄、踊り 7 名)

10周年記念行事の立役者
司会担当の田口悦造氏
大役を終えて安堵の笑顔



お礼を述べられる、三宅名誉代表

祝賀会を盛り上げてくれる、「あすなろの会」の皆さん



記念式典を支えたスタッフ



開催日 : 平成25年5月12日(日)
10:00~14:00
開催場所: シティホテル美濃加茂
美濃加茂市太田町(JR東海美濃太田駅前)

鳩吹山ともの会の現状と発展のために (名誉代表)三宅 健治

鳩吹山ともの会は、自然保護と人の共生を第一義とするボランティア団体です。

立ち上げてからすでに10年、思えば長くもあり短くも感ずる年月と云えましょう。素人集団として熱気が先行する状態でお出しましたが試行錯誤のくりかえしと英知を集める努力、他団体の活動などを参考に成長し現在に至りました。

会員は現在約90名で、暦年による高齢化とマンネリ傾向などのおそれなしとは言えないことも視野におき、諸課題に取り組みたいと思います。ご先輩方のご指摘、ご批判を受けたく存じます。

1. 活動エリアが山林のため、当然ながら体力が第一条件です。 ともの会の来歴から高齢化は必然、重い課題として、手段、手法など充分精査、適切な活動に心掛け、かつ事故防止に努めなければなりません。
2. 保全活動を行うに際しては、行政、地権者との協議を正確にし、あらぬトラブルを防ぐため万全を期さねばなりません、善意の活動であっても意思疎通不十分から生ずる不信感は避けなければなりません。
3. 必要により知識技能等、専門機関からの研修、または指導を受け適正かつ理にかなった作業と効果を上げたいものです。
4. 仲間づくりと会発展のため、あらゆる機会をとらえて広報に努めなければなりません。また活動への参加者を増やすため仲間意識の拡大、助長と親しみやすい雰囲気づくりに努めて参ります。

ともの会は、時代の求めと山を愛する岳人の想いから出発し節目の10年を迎えました。感謝と共に、さらなる発展のため多くの入山者各位のマナー、モラルの向上に期待しながら世間から信頼され得る存在でありたいと存じます。ご協力を切にお願い申し上げます。



真禅寺登山口のため池(一の木戸下ため池)

ともの会の活動状況

環境保全グループ 安藤 和義

会の二本柱、山行グループと環境保全グループ、その一つ保全活動は、発足前の心配をよそに、第一回目の参加者は50余名も集まり、作業も手慣れたものであった。

次の年に、市のアドバイザー林先生の指導のもと遊歩道の有り方、つづら折り、水みち、木の伐採等を学び、荒れた道幅を1.5mほどに、これも会員の努力と市、地権者の協力によるもの、あれから10年、右記の写真でも分かるように、保全活動もすっかり定着した。

「今まで学んだこと、現場を歩き、常に話し合うこと」

会の発足時63名でスタート、その頃の人にはほとんどいなくなり、うまくしたもので、別れがあれば、出会いがある。新しい方が新たな息吹を会に与え、ここまで支えてくれたし、今後も支えて欲しい。



荒れた遊歩道(平成14年撮影)

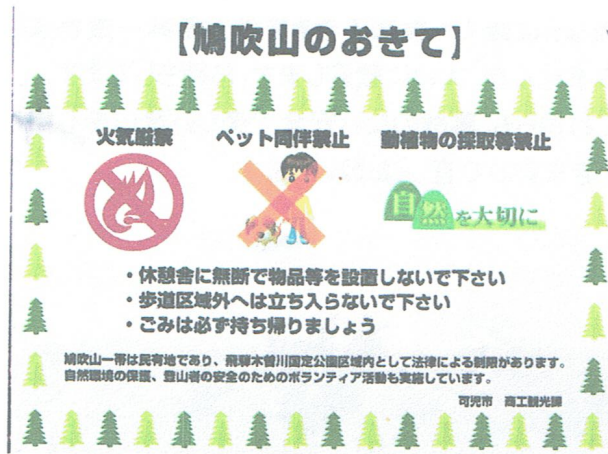


緑のある遊歩道(平成20年撮影)

パトロールグループ 相羽 清

平成16年5月1日より「可児市鳩吹山遊歩道パトロールボランティア活動実施要領」が施行。

鳩吹山の登山者が年々増加するに伴い、遊歩道の荒廃等環境悪化が進む現状を憂慮し、登山者のマナー向上の啓発、環境保護を目指しパトロール組織を結成、同年7月スタートした。



注意を呼び掛ける看板

地域支援グループ 田口 悦造

ともの会発足1年後から、地元の土田小学校2年生のカタクリの種まき支援を行っています、当時の2年生も、9年目の現在は17才頃、当時種まきしたカタクリが開花する頃です、現在は、毎年3年生が、5月末にカタクリの種まきを行います。

ゆとり教育の一環として、土田小学校3年生の総合学習「鳩吹山植物名人になろう」の学習支援を実施、可児市環境フェスタで、小中学生選抜による発表会で連続出場を果たしています。

将来は、幅広く地域の支援活動に貢献することを考えています。



平成24年3月、カタクリの種まき

○パトロール員は可児市長から委嘱

○活動内容

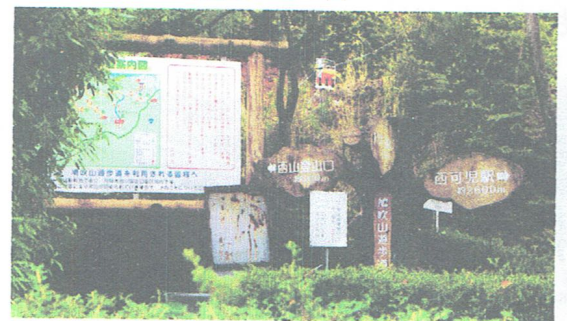
1) 啓発活動

タバコその他、火気の使用禁止
自然体系に影響を与えるペットの同伴禁止
動植物の採取、立木の伐採禁止
ゴミの持ち帰りのお願いなど

2) パトロール形式

個人による随時パトロール(月平均 7回)
毎月第4水曜日 一斉パトロール(平均18名)

3) パトロール要員 34名



真禅寺登山口

主な地域支援活動

①土田小学校3年生

野外学習: カタクリの種まき
総合学習: テーマ「鳩吹山植物名人になろう」

②土田・兼山保育園

年長児卒園記念鳩吹山登山

③名城大学情報工学科

新入生オリエンテーション、鳩吹山研修登山
地域環境活動(クリーン活動)

④土田公民館

植物の勉強、宝探し
(ゆとり教育の一環として、地元の親子が参加する)

⑤可児市観光協会

登山者の要請による「鳩吹山コース」のガイド
(ともの会会員、7名がボランティアガイドに登録)



鳩吹山・大脇登山口

登山グループ 吉田 正成

登山グループは、鳩吹山とも会発足と同時にスタートしました。三宅代表が常づね言っておられる「ボランティアと登山は鳩吹山とも会の車の両輪である」をモットーに、他の山に登りその良いところ見て鳩吹山のボランティア活動に活かして行く、また仲間の意思疎通をはかり楽しく安全な登山を心掛けて運営しています。

発足3年位までは、個人の車5、6台に分乗して実施していましたが、運転者の負担、車の安全等を考えてマイクロバスや中型バスにしました、時には大型バスに40名程で熊野古道や箱根の金時山などへ行ったこともあります、貸切バスの良いことは縦走が出来る、



平成24年7月17日、赤うさぎ登山の様子

車中で和やかに歓談できることです。

現在は毎月第3火曜日に実施、雨の場合は繰り延べで実施してます、年に1度8月に1泊2日で登り易い、日本百名山(23年は立山縦走・24年は薬師岳)に登りました。

最近は毎回20名～26名程が参加しています。会員ならば誰でも参加できますので是非一度参加してみませんか、大いに歓迎します、お待ちしております。

これからも、事故のない安全で楽しい登山を心掛けていきますので宜しくお願いします。



平成24年7月17日、赤うさぎ登山の様子(高山植物は満開)

自然保護グループ 鬼木 博文

平成23年12月の連絡会で鳩吹山と周辺に見られる植物の観察を行う事が提案され、平成24年3月から早春の草花の植物観察活動を開始した。

- ①「可児川下流域の植物」(金子郁朗他著)という2冊の本をテキストとして持参し、現地へ行き「写真と現物」を確認する。
- ②参加者全員が「生徒で先生」このキーワードで集まった人達と相談し、日時と場所は毎月第3土曜日9時、カタクリ駐車場に集合する事になった。当日は予約なしに10～15人が集まり、3時間を目途に実施している。



ダイヤモンドジク(飛騨木曾川国定公園の岩場) 平成24年10月

集合した場所で、昨日・今日の天気を考慮し、巡るコースを決めて出発。花を見つけては名前と掲載頁を確認し記録する。1シーズン目の現在、テキスト記載の花を全部確認するには、まだ2シーズンは必要と思われる。

テキストで10年前には確認されているのに、今は見つからない花があれば、原因を探りたい。

雨のときは駐車場横の東屋で花談義。解散後は帰る人あり、弁当とそのまま雑談や鳩吹山散策に出かける人ありである。自由に発言できて、笑いの絶えない活動でもある。



早春の飛騨木曾川国定公園での植物観察 平成24年3月

鳩吹山城の概要

1 位置及び標高等

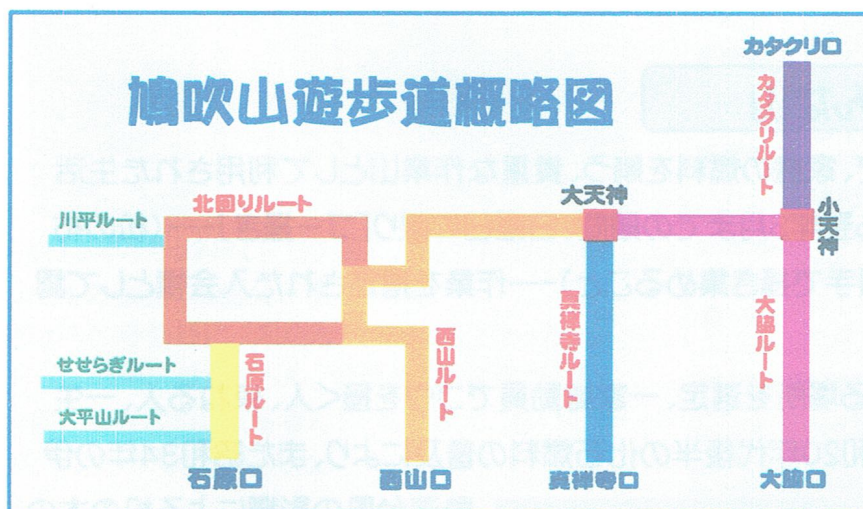
- (1)岐阜県中南部に位置し、愛知県犬山市と隣接、東西約2キロメートル、南北1.5キロメートルの広さを有する。
- (2)標高は山頂で313メートル、最低地は、山麓の木曾川畔で44メートルとなっている。
- (3)経緯度は、北緯35度24分、東経136度58分と表示されている。
- (4)山城の北面は国定公園、通称日本ラインの中流域で奇岩、奇石の景観地になっている。

2 地質・植生など

- (1)全域で262ヘクタールの面積があり、旧村有林が多く私有地は、一部である。
いわゆる財産区、森林組合、寺有地などの保有地である。
- (2)昭和30年代から化石燃料への転換から作業山としての里山機能が終わり、以後は次第に健康又は、癒し目的の登山やハイキングが始まり現在は年間約5万人が山頂を極めている盛況振りである。
- (3)地質は、美濃中世層が土台でチャート岩が表皮となっている(約2億年前の創生といわれる)。
なおチャート岩は硬質で俗に火打石といわれ矢じりや、火打ちに利用された。
そのため土田地区から多くの矢じり等が出土されている。
- (4)植生は松などの針葉樹から、現在は落葉広葉樹に変貌をとげている。

(長瀬 治義氏の資料参照)

鳩吹山遊歩道



鳩吹山一帯は、可児市の西端、岐阜県、愛知県の県境に位置します。鳩吹山には、6ルートの遊歩道と5ヶ所の登山口があり、愛知県犬山市の栗栖遊歩道へと続いています。山城の大半は、飛騨木曾川国定公園に指定されており、起伏が大きく、岩肌の露出が多い遊歩道は、眺望の優れているのが特徴です。

<インターネット公開の日本地図>
電子国土:地図の山名「鳩吹山」の表記について、以前には、標高のみが、表記されていたが、最近の電子国土には「鳩吹山」と標高が表記されている。何時から表記されているのか?

平成12年1月13日可児市からの申請により、平成19年10月より、更新を先行して表記されている。

鳩吹山遊歩道の概略距離、階段の段数

ルート名		距離(m)	階段の段数
カタクリルート	カタクリ口⇔小天神 (カタクリ口⇔大天神)	700 (1100)	191 (387)
大脇ルート	大脇口⇔大天神	1200	701
真禅寺ルート	真禅寺口⇔大天神	800	713
西山ルート	西山口⇔大天神	1800	776
北回りルート	北側分岐⇔南側分岐	1800	106
石原ルート	石原口⇔分岐点	1700	0
合計		8000	2489

- 鳩吹山遊歩道は、市が認定している6ルートで全長8000mに及びます。
- ①概略距離は、道のり計算
 - ②階段の段数は、コンクリートやプラスチックの擬木、木の丸太、石や岩などの人為的な段差を勘定したもので、自然の段差は含まない。
 - ③H23.12月に調査したものを。

鳩吹山の呼び名の変遷

- ◎可児町史・資料編によれば、文化6年(1809)帷子郷由緒書に「鳩吹之峰」と記載されているが、文化8年(1811)土田村帷子郷栗栖村山論済口証文には「大天神之峰」となっている。明治14年(1881)になってようやく美濃國可児郡各村略誌に「鳩吹山」が登場する。
- ◎天保14年(1843)新撰美濃志には「天神山」とある。
- ◎我々も子供の頃には「土田山」と呼び、土田の人々は「西山」と呼んでいた。
- ◎口承では地区によって色々な呼び名があっても良いが文書に残る正式名が「鳩吹山」となったのは明治時代からであろう。
- ◎この鳩吹山に室町幕府軍3万が在陣した事実を大正13年岐阜県教委発刊の濃飛両国通史より紹介しよう。観応元年(1350)7月、南北朝時代の美濃守護・土岐頼康の従兄弟である土岐周濟房等が守護家に背いて反旗を翻したので、幕府側は足利尊氏の長男・義詮(8年後に第2代将軍となる)高師直、佐々木道誉等が鎮圧のために3万の軍勢で鳩吹山にきた。その後、反乱軍は平定されて終息した。

田上 勇嗣氏提供

昔の鳩吹山はどんな山

鳩吹山は、昭和20年代後半まで、家庭の燃料を賄う、貴重な作業山として利用された生活の山でもありました。毎年12月から翌年3月までの期間、日曜日に限り「ゴー掻き」---(松の枯れ落葉が地上に堆積したものを熊手で掻き集めること)---作業を指定された入会権として認められていました。

地域住民は、競うように入山する場所を選定、一家総動員でゴウを掻く人、束ねる人、一生懸命の作業でした。この制度も昭和20年代後半の化石燃料の普及により、また昭和34年の伊



西山遊歩道から見る鳩吹山頂上

勢湾台風の影響による松の木の倒木等から次第に衰退、以降見捨てられた。いわば放置山として現在に至っている。里山の位置付け再考と、よき里山の原風景を懐かしみながら、活性化を考えざるを得ないと思います。

「鳩吹山ともの会」設立に至った経緯

鳩吹山域は、当時は年間3万人とも言われる東海地方有数の入山者が有り、そのため遊歩道やその周辺の踏み荒らし、植物の滅失、空き缶、タバコのポイ捨て、これらに起因する災害のおそれなど、心ある多くの人々に環境汚損の危機感を持たれるに至りました。このような実態に憂慮し積極的な復旧と保全、保護および人々との共生に寄与できるグループを立ち上げ、息の長いボランティア活動を行う事となりました。当然ながら実施にあたっては、行政をはじめ地権者、地域、その他の関係者との協調、連携を密に行う事が基本姿勢でありました。

その後、入念に準備し、入山者の皆様方に呼び掛けたところ、50余名が同調、参加されることになり、意を強くして、平成15年4月にボランティアグループ「鳩吹山ともの会」を設立する事になりました。

平成15年・4月

「鳩吹山ともの会」設立 / 帷子公民館



代表の挨拶

（帷子公民館）
設立総会風景



平成15年4月27日（日）帷子公民館で待望の「鳩吹山ともの会」設立総会が開かれた。以前からの呼掛けに、入会者数は63名となった。当日はこの地区はもちろん、多治見、名古屋などからの参加者も含め、出席者は28名を数え、思いのほか盛大な設立総会を迎えた。



設立総会出席者による記念撮影(帷子公民館)

設立総会記念・清掃登山



真禅寺登山口からの清掃風景



「鳩吹山ともの会」の組織

自然保護	希少植物の保護・保存に必要な活動 希少植物に関する研究活動
環境保全	登山道及びその周辺の保全補修活動 松枯木等の伐採と利用活動 地権者・行政との協議連携による保全活動
環境美化	登山道を中心とした清掃活動 防火・防災・盗伐等に対する活動
登山	初心者や小中学生に対する登山・ハイキング案内と指導 中級・上級を目指した登山・ハイキング指導と実施



真禅寺グループ・大脇グループの合流



ゴミのまとめ

設立総会后、持参の昼食を済ませ、真禅寺と大脇の2ルートに別れて清掃活動に入った。



清掃後、鳩吹山頂上で記念撮影

鳩吹山・大脇遊歩道整備

平成15年6月22日(日)、待望の遊歩道整備が予定どおり行われた。午前9時、鳩吹山山頂東屋に集合。集った同志は50名、加茂農林高校MS(マナーズ・リーダーズ)や一般登山者の参加が実に嬉しい。



概要説明にあたる川合委員(左端)、右端は高井リーダー

川合 昂 運営委員より挨拶に続き整備概要の説明を行った後整備に取り掛かる。作業は、土のうを作り土砂の流出を防ぐこと、排水路を作って雨水ルートを確保し、登山道への流出を防ぐこと、石段の積み直し、事前に伐採していた竹を利用しての柵作りで登山者の安全な遊歩道への誘導を行うことなどを手分けした。



整備後、美しさを見せる遊歩道



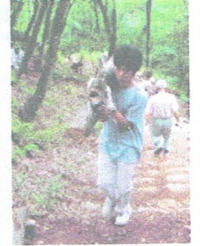
お力添えをいただいた皆さんと山頂での記念撮影

グループが創設されて2ヶ月、会員各位はもちろんのこと行政機関を始めとする関係者各位のご理解、ご協力をいただきながら僅かずつではありますが前進しているように思います。



去る6月22日(日)、私ども環境保全グループ主宰による「大脇口登山道/遊歩道の補修活動」を行いました。会員のほか、地元加茂農林高校生や一般登山者を含む50名が参加、約半日間にわたり多くの汗を流されましたこと、お疲れ様でした。誠に感謝の至りでございます。私どものこうした活動の輪が、水面に投じた波紋のように登山者のみならず、一般市民の皆様にも広がることを期待してやみません。

MSリーダーズ活動中ののぼりに皆がすっかり元気付けられたかのようなようだった。心地よい疲労感のうちに各ポイントの整備は次々に終了を迎えていた、時に11時半となっていた。各自持参の手弁当を小天神まで運び昼食をとった。みんなの顔がとても明るい、ねぎらいの言葉の中に、更なる建設的な言葉も聞かれた。



大脇遊歩道・階段整備

平成15年11月16日(日)大脇遊歩道、通称馬の背上の<階段部分>と、その上部の<岩場部分>の整備活動を行った。

参加者は、総勢25名。

整備概要は、踏み荒らしによる遊歩道の幅員を制限すると共に階段の整備を行うもので、制限された踏み荒らし部分には周囲の腐葉土(ドングリを混入)を土のうに詰めて敷設する。

ロープ張りの支柱等、打込みが、可か否か、事前の作業も見逃せない。作業の分担も的確、出来栄は見事である。



階段脇踏み荒らし部(整備前)



階段損傷部(整備前)



階段の固定、岩部分に留意して打ち込み



通行禁止部の表示



土のう作り



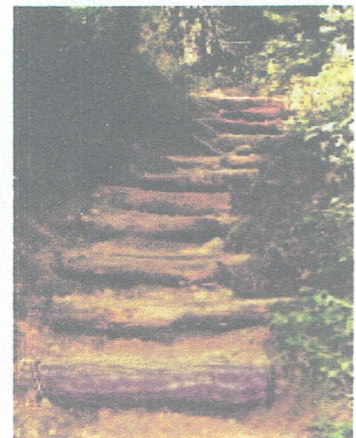
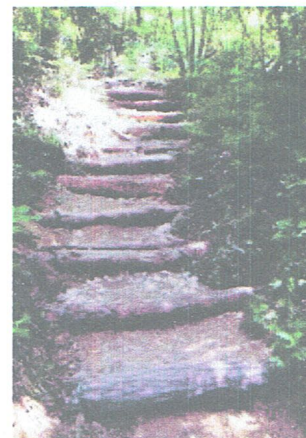
階段の整備、滑り止



北回り・滝上部遊歩道整備

平成16年7月11日(日)梅雨の晴れ間、参加者は35名、4班に分かれて活動に入る。

- ①枯木の伐採も同時に行い歩道部階段の資材とする。
- ②土のうの砂利は、少し離れた所で採取して運搬する。
- ③階段部には土のうまたは、砂利を敷き詰める。
- ④ルート設定用のロープ張りを行う。



真禪寺遊歩道整備

平成17年2月20日(日)鳩吹山遊歩道自然環境保全事業等連絡会に基づく6回目の整備活動を行った。

参加者は会員の21名と一般参加の2名の計23名。

既存の材料をうまく利用し今回の整備に当てる。

大きくなった従来の階段部段差は、土砂等によりえぐられてきたもので、実に30センチにも及ぶ。2段を1段に改修することで、確実なみず道を確保する。



遊歩道を限定して
荒廃範囲を最小限
に留める為のロープ
張りを行い、作業を
終えた。



西山遊歩道整備

平成17年 9月26日(月)

準備された資材を基に遊歩道の整備だ。市役所から2名、土田財産区から8名、ともの会から20名、さらに外部から2名参加いただき総勢32名となり、真禪寺駐車場に9時に集合し、作業に取り掛かる。

鳩吹山山頂より西山に向かう下り斜面の部分で丸太の固定やロープ張りなど一連の整備を行った。

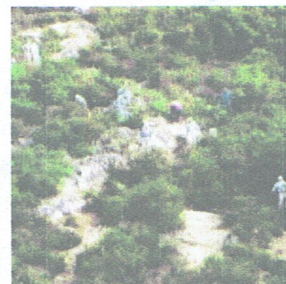


頂上から西山に向かう下り斜面
作業箇所(赤丸内)



平成17年 10月24日(月)

第11回目となるこの日、林進先生を始め市役所1名、土田財産区4名、そしてともの会22名と総勢28名の参加で鳩吹山から西山へ向かう下り斜面(下写真丸印整備前(左)と後)の整備を行った。



頂上から西山に向かう下り斜面
9月26日作業の下の部分の整備

鳩吹山遊歩道の緑化活動

ミツバツツジの植樹

平成17年12月1日(木) 参加者約80名
 前回・前々回行った遊歩道整備部周辺にミツバツツジの植樹を行うもので、参加者はその苗・腐葉土を持って上がることから始まった。根腐れ防止のために根回り部は良くほぐして植えるという手法で進めた。一般参加も多く作業もはかどった。



植樹その1

平成20年11月5日(水) 9:30~13:30
 公募市民参加8名、当日市民参加2名、林先生と市職員3名、ともの会17名。参加者は総勢31名。

植樹種はエゴ・ハギ・ヤマザクラ・モミジで計120本、活動は真禅寺登山道「オオヤシャブシ」～山頂間の植樹及び大天神山頂周辺の植樹と立木の枝打ち。

金子係長の司会で始まり林先生の話をもった後、当会の事務局長・田中氏より活動内容の説明があった。



18年度「森林ボランティア育成講座」始まる

昨年に続くこの講座、平成18年9月14日(水)開始。第1回目のテーマは「森の多様性を読む」で、参加者は33名、鳩吹山で林進先生の解説と共に地形別の高木層優占樹種、地形別落葉樹・常緑樹の組合せ割合やツツジの開花状況などを観察調査した。



ミツバツツジの活着調査

平成18年5月29日(月) 参加は28名。
 林先生始め市役所2名とともの会会員他。昨年植樹したミツバツツジの活着調査。今年は花を咲かせたが、来年以降が気になるころだ。全ての根のほぐしを確認し再植樹を行ったもの。この様子はケーブルテレビ可児で放映された。



植栽したミツバツツジの掘り起こし



ミツバツツジの根をほぐしての確認作業

植樹その2

平成20年11月12日(水) 9:30~14:15
 公募市民参加7名、当日市民参加2名、林先生と市職員2名、ともの会16名。参加者は総勢28名。
 前回に引き続き、植樹種はエゴ・ハギ・モミジで場所は西山100~140地点間。今回180本と多いため、苗木の運搬に背負子を使用するなど戸惑いはしたが、ほぼ午前中に植樹を終え、午後に至っては枯れ松の伐採、階段補修と活動範囲を広げることになった。



山頂からの眺望を良くする作業

平成19年12月8日(土) 参加者22名

今回の緑化活動は、山頂からの遠望を良くする作業が目的であり、通常の遊歩道整備とは異なり遠望を確認しながらの枝打ち・草刈り・低木切りを行った。

9時からの作業は11時をもって終了。その後は全員による会費制の昼食会となった。



遊歩道を狭める植栽と作業

平成19年2月10日(土) 参加者19名

継続であるススキの植栽作業や、真禅寺遊歩道の整備活動を行った。一般参加者2名で、1名にあつては森林ボランティア育成講座の受講者である。



その昔、この辺りにもススキが生い茂っていたと聞く。地質的には根の張るものより株で増えるススキは適合し易いものであろう、秋の情景に期待したい。



大脇遊歩道・大天神直下の整備

平成19年 11月10日(土)

大脇遊歩道、大天神直下のガレ場での活動。

8:30の真禅寺駐車場集合から現場へ向う。

参加は計18名で会員は16名、会員外で2名。

作業は53段(丸太は現地調達を含む)の階段作りの他に、その周囲への松などの雑木を枝打ちしたものを敷設して、11:00に作業を終了した。

真禅寺遊歩道の補修・枯木の伐採

平成20年6月14日(土) 9:00~11:00

14日は会員から17名、会員外の1名を加え18名の参加。担当の山口氏から今回の補修場所、方法の説明を受け活動に入った。的確な指示のもとで、階段の補強やススキの移植、また枯れ松の伐採などで予定以上の成果をみせた。



大脇遊歩道の補修、枯木の伐採

平成21年 6月13日(土)

カタクリルート of 階段一部補修、大脇ルート周辺で枯れ松6本、枯れ杉2本の伐採、大脇ルート90地点の遊歩道補修が今回の対象。遊歩道の補修は土嚢での補修、ルート外への枝木の敷き詰め、10mのロープ張り作業を行った。



大脇・真禅寺・遊歩道の枯木伐採

平成15年12月27日(土)冬本番に向けて松枯木等の伐採とその処理を行った。

集まった会員は総勢24名、3台のチェーンソー、のこぎりを手に大脇、真禅寺に分かれて作業に入った。



チェーンソーと手作業の連携プレー。下はその成果



西山遊歩道・松枯木の伐採

平成16年9月26日(日)西山遊歩道周辺の松枯木の伐採を行った。参加者は同会の会以外からの参加もあり約30名で、3班に分かれて作業に取り掛かった。昼までには予定の作業をこなす事が出来た。



カタクリ小橋近くの竹林整備

平成20年2月9日(土)参加者24名崩れた遊歩道の整備・階段の補修や倒れた竹林の整備や登山道登り口ほかの清掃活動を行った。9時からの作業は、途中からの雪にもめげることなく10時40分には作業を終えた。



登山道の整備活動



雪の中で会費制「ぜんざい」を頂く

事前調査で対象をチェックした。当日の参加人数で範囲を決定する予定が、思いの外多い人数に活動範囲が広がった。



倒される遊歩道脇の松枯木



松枯木は真禅寺コースに多い



西山休憩舎・東側の間伐作業

平成17年1月30日(日)間伐作業を行った。参加25名、うち趣旨賛同の一般参加4名で行われたもの。以前より密集箇所とされていた場所で、やっと、手を入れた感じである。間伐の余材で急傾斜外部にベンチも制作して、予定の作業は無事終了した。



自然保護活動

ササユリの盗掘と看板の設置

平成20年6月10日、昼頃にササユリ5～6本、根こそぎ掘り起しの盗掘があった。これを受け当会員及び会以外数名による「注意・警告看板」の取付けを12日に行った。幸い、この日以降の盗掘は見受けられなかった。

ササユリの保護活動

平成22年6月2日(水)9:00～11:30総勢26名で、鳩吹山に自生するササユリの保護活動を行った。今回は、名城大の小池教授、盛川君(学生)のご参加も頂き保護域の杭打ち・ロープ張り・看板の設置・ササユリ自生数の調査等、次年度以降に繋がるデーターの作成も行った。



植樹したもみじの支柱立て作業

平成22年7月7日(水)総勢17名での活動は、大脇登山口～大天神間の樹木の保護作業。①昨年植樹したモミジに支柱を立て紐で固定する②周辺の草刈り及び剪定③ビニ帯を付ける(ビニ帯は今後の追跡調査の指標になる)その他、4年前に植樹した萩の花が今年も見事に咲いたが、周辺の草も伸びているため草刈を行った。(9:00開始、11:40作業終了)

植樹した樹木の下刈り作業

平成22年10月6日(水)9:00～11:00参加者21名(一般参加 2名)、当日は、小天神～大天神間に過去2～3年にわたり植樹してきた樹木(モミジ・山桜・エゴの木)等の下草刈りを行った。今年は特に暑かった事もあり2～3割の樹木が枯れているのではないかとされる。



ササユリの保護育成

平成24年5月19日(土)、参加者11名

今回は、「ササユリ保護」の看板の取付けと株数の調査を行った。今年は支柱の設置や下刈りなどは行わないで、出来るだけ自然の状態で様子を見ることにした。

鳩吹山の西山遊歩道沿い2ヶ所に、ササユリが自生しているが、株数が少ないので、生育環境を整えたり、採った種を撒いたり保護育成に努めてはいるが、過去2年間減少している。

場 所	H22年	H23年	H24年
西山休憩舎分岐付近	28本	18本	18本
北回り入口分岐付近	38本	43本	30本



遊歩道の地面露出部にススキの移植

平成23年10月5日(水) 9:00～ 参加者 10名
10月の自然保護活動は、遊歩道沿いの地面の露出した部分にススキを移植した。規制ロープを張っている処があるが、ススキ等が大きくなったら規制ロープも取り除く予定である。



以前に植栽した木の下刈り作業

平成23年11月2日(水)9:00～11:10 参加者24名
11月の自然保護活動は、鳩吹山山頂付近の過去に植栽した木の保護作業を行った。(草に負け枯れた木も多数有り)草刈り等をして風通しを良くした。



大脇登山口・清掃活動

平成15年8月3日(日)大脇登山口の登山道わき、山座川及びその周辺での清掃活動を行った。

鳩吹山に集う方々に気持ちよく登って頂きたいと、会員及びそれ以外からも参加いただき、総勢22名での活動となった。



趣旨説明にあたる三宅代表(中央)と会員ら



国道41号線高架下附近での収集



なかなかの大物も捨てられていた。自転車を始めバイクの残骸、スロットマシンやプレーヤー等である。搬送には一輪車が活躍した。



山座川に入っでの清掃作業

一輪車搬送稼働中!

日頃お世話になっている大脇公民館周辺の草刈もスムーズに行うことが出来た、さすがに人海戦術が功を奏したといえるのだろう。空き缶、ペットボトル、可燃ごみガラス、陶器など約15袋の指定袋に納まり、翌日の市回収を待つのみとなった。

カタクリロ・山座川清掃活動

平成17年 3月12日(日) 9:00~10:45

これからシーズンを迎えるカタクリ群生地付近及びその上流大脇登山口周辺の清掃活動を行った。

河川の清掃は厄介な面がある、ひと雨降れば一変し、上流から様々なものを運んできてくれるものだ。

活動参加はどもの会24名と一般参加を加え25名。



雨の中での清掃活動

平成24年3月10日の環境保全活動は、カタクリの開花シーズンに合わせてカタクリ自生地周辺(山座川・可児川下流域公園等)の清掃を行った。これは鳩吹山どもの会恒例の行事となっていて22名と多くの参加者があった。(1名は市職員)

昨年夏の大雨による増水で木にゴミが引っ掛かり見苦しい状態になっていたが、多くを除去出来た。



25袋もの大量のゴミ



高さ4mほどの木の上にもゴミが



ゴミの分別中

自然観察

第1回 鳩吹山自然観察会

平成15年10月19日(日)自然保護グループでは予備観察会を重ね、この本番に臨んだ。講師はお馴染みの奥谷先生、会員17名、加茂農林高校から7名、一般5名の総勢29名が参加、大脇公民館にて予定通り9時よりのスタートをきった。



大脇公民館前での開会

第2回 鳩吹山自然観察会

平成16年5月23日(日)

昨年の第1回に続き、講師に奥谷先生を迎え、一般参加者5名を含めた24名の参加で真禅寺駐車場を出発した。第1回同様にグループで、予備観察会を重ねた資料を手に、西山登山口に向かった。



35種ほどの植物観察が過ぎた辺りでの雨は本降りになる予感？植物の多い林道をほぼ終えたこともあり足元の悪い西山登山での観察継続を断念した。

鳩吹山と周辺・春の花観察会

平成23年4月6日(水)9:00~13:20 総勢17名
 同会の自然保護活動は鳩吹山・春の花観察会を実施した。普段とは違う視点から観察する事で多くのものが発見できた。大好評につき来年も是非実施したい。(下の写真は当日の資料の一部)



三宅代表の挨拶に続き、全員の簡単な自己紹介を済ませていよいよ本番。奥谷先生からはこの地区の特徴地質の

概要等解説の後、大脇口へ移動した。



第4回 鳩吹山自然観察会

平成17年5月8日(日)久々利柿下、市指定天然記念物、ミカワバイケイソウ群生地に向かう。

講師に奥谷先生を迎え、参加者は会員15名の他4名の19名である。目指した洞の群生は1,000株以上で圧巻だが開花が見られたのは2株に過ぎない。

常にこのような状態らしい、日射量の影響とか様々な原因があるらしいが、詳細は不明である。

観察会の模様は、ケーブルテレビ可見の取材が行われ5月11日CTKトピックスで放映された。



鳩吹山と周辺・秋の花観察会

平成23年12月7日(水)9:00~12:00

参加者は同会の17名・一般1名の合計18名

12月の自然保護活動は土田城跡付近の1~2輪草自生地の草刈りを実施。11時から可児川下流域公園に移動して「自然観察会」晩秋の紅葉を楽しんだ



鳩吹山周辺の春の植物観察会

平成24年3月～4月 鳩吹山周辺の自然観察

自然に恵まれた鳩吹山周辺は、多種類の植物が見られます。楽しみながら植物の名前を覚えようと、ガイドブック「可児川下流域の植物(春)」を片手に、花や葉を確認しながら歩いた。

- ①3月16日(金)大脇公民館から可児川左岸、虹ヶ丘橋、可児川右岸を引返す道(参加者9名)
- ②3月26日(月)可児川下流域自然公園(参加者12名)
- ③4月6日(金)石原林道、石原地区(参加者12名)



可児川下流域自然公園で早春の植物観察



- ④4月16日(月)鳩吹山頂上、山の歴史・地質などの解説「鳩吹山から何が見えたか」可児市立図書館長・長瀬治義氏。木曾川の流れや御嶽山の噴火、湖の出現、鳩吹山のチャートの生成など興味深い話に聞き入った。(参加者18名)



長瀬治義氏



鳩吹山頂上で、長瀬治義氏の話に聞き入るとの会員

カタクリ豆知識

1. ユリ科カタクリ属 (多年草・球根植物)
2. 鳩吹山北斜面には7000平方メートル、10万株(推定)が自生しています。(2009年毎日新聞)
3. 片栗粉と云えば、今ではジャガイモから作られていますが、以前はカタクリの球根から作られていました。
4. 「鳩吹山ともの会」では、平成16年(2004)から毎年5月には地元の土田小3年生(平成22年までは2年生)とカタクリの種まき活動をしています。(カタクリ群生地の拡大、子供たちの野外学習により郷土愛を育む)
5. カタクリは、ドングリの木(ナラ、ア・マキ、クヌギ)等の落葉樹林で早春の陽射しのある所にしか自生しません。
6. カタクリの花は、開花期を迎えても雨や日射しがないと開花することができません。
7. カタクリは虫媒花といって昆虫によって受粉し種子をつくります(マルハナバチ、ギョウジャ、アリ等の昆虫)
8. カタクリの種には、エライオソームというアリの好む物質がコーティングされていて自分の巣穴に種を持ち込みエライオソームだけを切り取り種子は巣の外に捨てる(群生地が拡散・拡大する)..スミ等も同じ
9. カタクリは播種後7～8年経過しないと開花しないとされている。2葉になると花を咲かせるが、一度花を咲かせるとその株は毎年花を咲かせる訳ではなく、1～2年休んで(不定期)球根を回復させてからまた咲く、寿命は14～15年とされている。(多年草)
10. カタクリは、蕾を付けない株はすべて1つ葉です。(一度開花した事のある株では1つ葉ながら葉っぱは大きいように思われる)
11. 春先に見られる実生の数は前年出来た種子数の10分の1にも満たない。
12. ギョウジャはカタクリの開花の頃に羽化しカタクリの蜜を吸い受粉のお手伝いをする。(ギョウジャはカアオイやウバサライソンの葉を食し卵をその葉の裏に産み付ける)
13. 【和名の由来】 花の付けない片葉の模様が鹿の子に似ているので「片葉鹿の子」。これが「カタカゴ」となり、更に転化して「カタクリ」になったといわれています。 <2012.2.20 山口昭美氏 作成>



地域支援活動

美濃加茂高校ボランティア支援活動

平成16年10月30日(土)美濃加茂高校の年1回全校一斉のボランティア活動。昨年と同様、西山林道(ため池～西山口)の草刈とゴミ拾いを行ったもの。参加者は父兄、その他を含めると総勢59名である。



平成17年10月29日(土)美濃加茂高校は年1回全校一斉のボランティア活動を実施している。この日は出身中学別に別れて地域の清掃活動を行ったもので、ともん会はこの支援活動である。

鳩吹山遊歩道周辺の草刈の予定は、朝からの雨天のためゴミ拾いに変更となった。参加は美濃加茂高校関係32名、ともん会9名、他2名の計43名。



土田保育園お別れ遠足・登山支援

平成19年2月27日(火)卒園前の恒例行事である。晴天の遠足日和に園児32名は元気よく歩いた。道端の草や木の説明を受けたり、小天神からの眺めに歓喜の声を上げたりと、疲れる素振りは一向に見せぬまま山頂に到着した。ともん会から14名参加で安全な登山や野外学習を支援した。我々には随分、若返りの活動となった。



美濃加茂市・たから幼稚園・山登り支援

平成20年3月11日(火)たから幼稚園年長組卒園前の鳩吹山登山で園児89名、先生9名の登山支援を行った。頂上付近では、麓で待機している保護者と反射光での交信に、歓喜の声を上げるなどして、鳩吹山の自然に親しんだ。

この模様は岐阜新聞(15日付)にも掲載された。



広見小5年鳩吹山登山支援

平成20年5月8日(木) 10:00～12:40
広見小5年生116名と先生・市職員6名、ともん会から協力者12名が参加した。登山の心得のほか注意事項や鳩吹山の説明のあと休憩を挟んでの登山となった。昼食後、大脇公民館に下山した。



土田小学校カタクリの種まき支援

平成20年5月23日(金) 午前9:30集合
土田小2年生91名と先生・市職員6名、ともん会から協力者26名(会員外5名を含む)が参加した。場所は土田公園カタクリの群生地、2年生の中には、保育園のときのお別れ遠足登山と一緒に鳩吹山に登った“仲間”との再会もあった。事前に花の説明や、種取についての注意事項を受けて群生地での種取り、種まきを行った。



土田小学校3年総合学習

<< その1 鳩吹山マスターに聞く >>

平成21年10月30日(金)土田小学校3年3教室
鳩吹山について夫々の得意分野での講師となって①歴史・自然…田中(榮)・鈴木(貞)②植物、動物など生き物…藤原③遊歩道関連…田口(悦)4講師は鳩吹山マスターとなって3項目を掘り下げて、写真や現物を用いて具体的に説明を行った。



<< その2 鳩吹山登山 >>

平成21年11月26日(木) 8:15～11:45
土田小学校3年・児童88名、先生5名、土田財産区4名、鳩吹山ともん会15名の鳩吹山登山である。

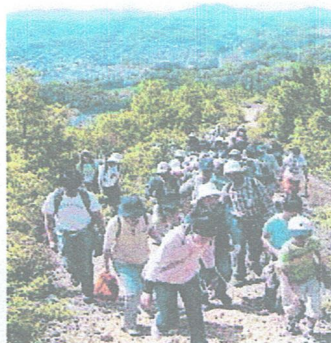


車椅子登山支援

平成16年 4月29日(祝)「バリアフリー可児」主催の車椅子登山の支援を行った、支援参加は12名。

年1回、ひとりの仲間を車椅子ごと担いでの登山で、今回は記念すべき10回目に参加させていただいた。

前方でロープを引く子供達、みこしの担ぎ手、応援団や、下山後のバーベキュー係りなど、様々な人が関わってみんなの笑顔が湧いてくる。「誰にでも楽しめる山登り」を!次世代へ繋げていけるものを模索中という主催者、心地良い汗をかいた。



「ゆっくり歩こう会」行事支援

平成17年 11月13日(日)日本ライン広域観光推進協議会主催の鳩吹山「ゆっくり歩こう会」の行事支援を行った。

4市1町で構成されている同協議会の行事で鳩吹山軽登山を初心者を対象に公募したもの。

可児川駅～鳩吹山～西山～西可児駅のコースのなかで、ともの会10名は受付・道案内役を支援した。一般参加者は総勢161名、9:30～14:30まで、事故などの報告も無く全員無事に〈パノラマ展望〉を楽しんでもらったようだ。

可児市環境フェスタ・イベント 可児川一斉清掃

平成19年2月17日(土)可児川清掃に参加した。ともの会は初の参加である。市内6ヶ所のうち、当該場所は可児川苑、ここだけでも総勢500人が集まる。



広範囲ではあるが人海戦術の効果もあり、8:30からの活動は10:00をもって終わることができた。ともの会からは4名の参加である、集収された膨大なゴミを目の当たりにして、つくづく数の力を感じたものだ。



可児観光ボランティアガイド発足

平成19年 5月22日(火) 代表以下7名の参加。可児市の観光名所を案内する「可児観光ボランティア」発足式が花フェスタ記念公園で行われた。ともの会では10名が登録した。



ウェルカム2008 IN カニ支援活動 可児市国際交流協会主催「鳩吹山登山」

平成20年6月8日(日) ともの会から支援は7名。

可児市周辺で働く外国の方と地域の方との交流を目的としたもので、参加は外国の方34名を含むスタッフら計62名。三宅代表から登山心得の説明のあと登山開始だ、当初の戸惑いもいつしか楽しい登山風景に変わっている。普段働く町並みを眼下に歓声が上がり言葉を超えた連帯感が広がる。下山後のバーベキューでさらに交流が深まった。



この模様は中日新聞(10日付)にも掲載された。

名城大学・フレッシューズセミナーに参加

平成22年4月9日(金)名城大可児キャンパスの新入生(200名)のフレッシューズセミナーが、名城可児の森・土田城山・可児溪谷等を、フィールドビンゴ形式での里山散策があり、鳩吹山ともの会からもインストラクターとして11名が参加した。その他「里山クラブ可児」からの参加もあり散策後は、食



事会にも参加し、他団体との交流を持った。

鬼岩公園整備に伴う植樹活動支援

平成16年 3月9日(火) 会員から12名が支援。花の都ボランティア事務局からの協力要請で。薄墨桜30本・臥龍桜30本・やまぼうし15本植樹。

鳩吹山位置表示板設置

平成17年 3月 9日(木)9:00~14:30可児市・商工観光課主導で、標記表示板設置作業を行った。

過去に山火事災害や事故などが発生しているが、現場の特定に困難があったため、今回は鳩吹山の登山ルート5コース(大脇・真禅寺・西山・北廻り・カタクリ)に表示板を合計36ヶ所設置したものを。

作業は可児市から2名、ともの会からは23名が参加して安全を願いながらスムーズに行われた。

本作業は岐阜新聞、中日新聞にも掲載された。



鳩吹山の出来事

鳩吹山・山頂に天満宮建立資材運び上げ

平成16年 2月 29日(日)鳩吹山・山頂に天満宮建立のための資材運び上げ作業の支援を行った。白髭神社氏子さん4名と会員14名が応援した。



鳩吹山・山頂天満宮遷座祭への出席

平成16年 3月 12日(金)カタクリの開花を前にした山座川に掛かる橋周辺の清掃に会員8名参加、その後、先に山頂に建立された天満宮遷座祭へ会員も多数出席し、総勢70名となった。



鳩吹山白髭神社事件

平成17年 10月 17日
標記天満宮は、無残にも破壊されてしまった。



鳩吹山大天神東屋火遊び?事件

平成18年 3月 9日(金)~10日(土)にかけて大天神東屋で遊歩道整備用の丸太や思い出帳が燃やされるといった事件が発生した。毎年のことながら本年度はこれで5回目。現在警察で捜査中。



遊歩道・標識看板

鳩吹山遊歩道標識・看板検討会(第1・2回)

平成21年11月4日・20日

市商工観光課と鳩吹山どもの会で行っているもので煩雑となっている標識・看板等の一斉見直し、整理。第1回は市商工観光課から2名、鳩吹山どもの会からは10名の参加、第2回は8名の出席で行った。現在の139ヶ所の対象物について「内容を見直す」、「位置の変更」、「撤去」、「現況のまま」、「現地再確認」を検討し区別した。

さらに第2回ではそれらの確認を経て、今後の進め方について深く話し合われた。



名城大学小池先生に鳩吹山遊歩道の活動状況現地説明と今後の指導願い

平成21年 5月20日(水) 16:30~18:15

小池聡都市情報学部教授ほか学生6名を迎え、どもの会から6名参加した。現地は真禅寺コース・西山コースの一部(大天神より西山120地点)間で、「鳩吹山どもの会」が行った活動場所及び活動内容(遊歩道整備・緑化活動・枯れ松伐採活動)の説明を行い貴重な意見を戴いたもので、今後の活動に於けるご指導・連携を依頼した。

鳩吹山遊歩道(可児市~犬山市)(夢空間)マップ原案の打ち合わせに参加

平成21年12月17日(木) 14時~16時

参加者は可児市商工観光課、犬山市観光協会と鳩吹山どもの会、観光ボランティアグループで、原案マップに基づき補足箇所の検討を始め、2つのメインルート案の検討等を行ったもの。

一般投稿「鳩吹山遊歩道ベンチ増設にお礼」

数人の会員の皆様が保全活動時に伐採した枯れ松を利用し、7ヶ所のベンチを作って頂きました。

一般登山者より利用され、又使い良いとのお礼を得ましたので、この場に報告しました。日頃の会員活動に併せ、ベンチ増設にご協力頂いた皆様方へお礼を含め記事としました。この写真は、小天神に設置された簡易ベンチです。



(平成20年11月30日発行に記載)

遊歩道の案内看板を設置

平成23年4月26日パトロールボランティアグループでは、予めより市に依頼していた道迷い防止等の看板が出来たので遊歩道の分岐点等7ヶ所に取り付けた。



「ルート外立ち入り禁止」看板を設置

平成23年10月26日、11月23日の2回に分けて鳩吹山登山ルート以外の立ち入り禁止看板を設置した。鳩吹山は低山でありながら他の山に比べて突出して事故が多いこと。ルート外は危険箇所も



あるため、進入しないよう、注意を喚起する看板である。

「鳩吹山どもの会」ホームページ開設

平成16年9月、会員の西岡氏を軸に神田氏の協力のもと、ホームページが開設された。どもの会の



活動状況が広く一般に理解頂けるものと思います。(開設後4年間程は維持されていたが、現在は、掲載されていない)

コンパスの使い方講習会開催

鳩吹山どもの会では、平成23年2月、登山に於いて、自然発生的に生じる道迷い等、事故に繋がる可能性があるため、個々の会員のレベルアップを図る目的で、地図の読み方、地形や方角の判断、コンパス(方位磁石)の使い方の座学を実施した。

更に、日を改め、鳩吹山で実技講座を2~3回実施した。



鳩吹山と周辺の写真展示会

可児市役所・ロビーで「絵画・写真展」開催

鳩吹山ともの会では平成23年8月29日～9月9日まで市役所ロビーで「鳩吹山の四季」を開催した。

平成22年に次いで、今回で2回目の開催である。



帷子公民館で絵画・写真・アート作品の展示

表題「鳩吹山とその周辺」、平成24年4月16日～28日の2週間、帷子公民館のロビーで、水彩画や写真、アート作品等会員の作品の展示を行った(絵・写真43点、アート数点、出展者9名)、鳩吹山を広く紹介するもので、準備した遊歩道のパンフレットもすべて無くなるなど好評であった。



CBCラジオ「グリーンマップ」で生中継

平成22年10月28日(木)雨天、8:00～9:00 CBCラジオの「グリーンマップ」のコーナーで鳩吹山からの生中継が約5分間あり三宅代表が対応され、我々鳩吹山ともの会のボランティア活動の様子と鳩吹山の紹介等がなされた。



真禅寺駐車場での取材

視聴覚作品コンクール・協議会長賞を受賞

平成23年2月6日(日)鳩吹山ともの会では、平成22年度・岐阜県視聴覚コンクールに於いて「岐阜県社会教育視聴覚連絡協議会長賞」を受賞した。受賞の対象作品は、「春の鳩吹山」、鳩吹



山の風景やカタクリの種まきを紹介した15分のビデオ作品。

可児市図書館にて「絵画・写真展」開催

平成23年9月30日～10月28日までの1ヵ月間、可児市図書館に於いて写真・絵画を始め多くの作品を展示した。ショーケースには木で出来た動物のクラフトや珍しい植物、鳩吹山に関する本・切り抜き等、鳩吹山の自然の豊かさや、ともの会の活動にも御理解頂いたのではないかと思います。



岐阜チャン《あなたの街から・可児市》収録

平成23年1月26日(水)は、朝から小雪が舞う、寒い1日であったが、岐阜テレビから五名・中日新聞・市会議員・可児市職員・可児広報・鳩吹山ともの会からも、25名が参加した。

2月10日には、岐阜放送「岐阜チャン」から放映された。



鳩吹山・小天神での取材



鳩吹山頂上での撮影風景

カニダー(ケーブルテレビ可児)の取材を受ける

平成23年4月14日Am9:00～14:30までケーブルテレビ可児の取材を受けた。鳩吹山案内やPR活動で、市役所(商工観光課、秘書広報課)、土田財産区、ともの会からも10名が参加した。それぞれが取材説明の役割を分担した。好天にも恵まれた。今回の取材は、岐阜チャン(1月取材)に次いで2回目の取材である。



鳩吹山遊歩道自然環境保全事業等連絡会

平成16年8月20日(金)土田公民館・第一会議室及び鳩吹山現地で林進先生から指導を受けた。午前中は会議とし、表記活動についての考え方。午後からは19名の参加で現地調査を行い、再び林進先生から数々のコメントをいただいた。

＜講師＞ 林進先生
奥田市議会議員・澤野市議会議員
市役所(商工観光課/事務局・都市計画課・農林課)
可茂消防組合南消防署、可児警察署
帷子生産森林組合、土田財産区管理会、真禅寺
石原55人持山管理会
鳩吹山ともの会・鳩吹山を緑にする会 (以上30名)



活動についての主な考え方

- ・ 自然との共存に於いて、数々の矛盾が生ずるもの、人の英知、マナー、ルールを守って進めること。
- ・ 1本の木を切ったら1本を植えるなど、常に復元を考慮することが必要である。
- ・ 活動はじっくりと、そして楽しみながら行うこと。自然との関わりを実践から学び取ること。
- ・ 一緒に汗を流せ、批評家にはなるな。そして、それぞれの立場を尊重し礼儀をつくすこと。

その主な進め方

- ・ 鳩吹山の健康診断から体力(山)作りが基本。
- ・ 関わるもの皆が役割分担されるもの。
- ・ 現場歩きをもって、常に話し合うこと。

現地調査での主なコメント

- ・ 山座川沿いに竹が繁茂し、勢力の拡大がみられる。伐採等の措置は今後調査の上。
- ・ シダ類はそこに水脈がある証拠。溝などを切るときはその配慮が必要。
- ・ 一部傾斜地で、木の傾斜崩壊の危険性のある部分が見られる。
- ・ 密林状態の部分に下草刈りの必要性が見られる。残すもの、間引くものの選定に留意。

ここに記したものは、ほんの一部であり、幾度かの現地視察・調査でさらに拡大されるであろう。

批評家になってはならない！
共に活動することである。

第3回・自然環境保全事業等連絡会

平成16年11月8日(月)

講師 岐阜大学農学部＜林進＞名誉教授
今回は「ルート設計をどのようにするか」の話が中心。

1. 真禅寺遊歩道の造り方

どのようなルートで遊歩道を作るのが良いか、遊歩道の道幅は1.2mから1.6mが良いなど。

2. 雨水路の作り方

直線ではなく、階段式の水路を作ることにより、水速の勢いを制御する。

3. 鳩吹山山頂から西山へ進むコースの整備方法

どのようなルート設計が良いか(真禅寺遊歩道と同じ)

4. 鳩吹山から西山に向かう山林の間伐の必要性

(テスト的に間伐を行い、様子を見ること)

5. 西山東屋付近の間伐(眺望確保も含めて)

上記内容を現地で確認しながら進めたもの。

- ・ 必要以上に広がった遊歩道を測り、整備の方法について、ルート設定を皆で協議すること。
- ・ いく筋も作られている遊歩道、どのルートを残し整備するか十分検討をすること。
- ・ 健康な山にするには間伐を行い木々の共生が出来るようにする必要がある。

第3回・自然環境保全事業等連絡会 反省会

平成16年12月10日(金)帷子公民館で、先の1日の整備を終えた連絡会(反省会)を行った。参加者は林先生をはじめ、澤野市議会議員、帷子生産森林組合、ともの会の合計34名が参加。

主に林先生から遊歩道整備の基本方針、植生についてなど4項目にわたり説明を受けた。

- ・ 遊歩道とは森林の管理道で、森のために整備する。
- ・ 森林の破壊に繋がる遊歩道は最小限と考える。
- ・ 植生を邪魔しない範囲での緑化整備とする。
- ・ ペットの連れ込みは野鳥等の生態に影響を与える。



森林育成については、健康な森とするためのもので植栽から20～40年で衰えが出るので人為的に管理しなければならない時期となる、鳩吹山が該当する。
シテコブシは自然放置では維持出来ない。



シデコブシ自生地の保全作業

シデコブシの現地調査 (第8回)

平成17年 4月25日(月)

林進先生を始め、地権者、行政、ともの会あわせ総勢24名で<予備調査>を行ったもの。

根張りの少ないシデコブシの現況把握のほか照度計を用い日射量の測定でその確認を行うなど。



鳩吹山地内シデコブシ保全活動

<シデコブシの分布調査の準備>

平成17年 6月15日(水)真禅寺駐車場に9時集合の後、シデコブシ自生地に移動、林進先生の指導の元、連絡会各員は調査の準備に入った。



<シデコブシの調査方形区設置(1)(2)>

平成17年 7月8日(金)、7月29日(金)真禅寺駐車場に9:00集合の後、シデコブシ自生地に移動方形区設置活動を行った(2日間)。



<シデコブシの分布調査(1)>

平成17年 8月5日(金)

第3回目となるこの日、市役所から2名、土田財産区から1名、ともの会8名で真禅寺駐車場に9時集合した。前回設置した方形区内のシデコブシの「樹高」「幹周り」「枝張り」などの計測を中心に行ったもので、各測量値の読み取りにも緊張が走る。



<シデコブシの分布調査(2)>

平成17年 8月10日(水)調査最終日は市役所から3名、ともの会からは9名の参加で真禅寺駐車場に9時に集合し現地に向かった。



シデコブシ天然記念物指定調査活動

平成17年12月12日(月)シデコブシの環境条件確保のため、障害となるヒノキ・ナラなどにマーキングを行った。また、以前調査したシデコブシにナンバプレートを取り付けた。



鳩吹山地内シデコブシ保全活動

平成18年 2月21日(火) 9:00から

指定申請区域(保護区域)設定のための杭打ち、倒木処理、倒れているシデコブシの添え木作業などを行った。可児市から3名、土田財産区管理会から3名、ともの会から13名で計19名参加。



鳩吹山シデコブシ自生地、天然記念物に指定

平成18年 5月22日(月) 可児市教育委員会
環境省レッドデータブックでは絶滅危惧種Ⅱ類。
自然環境保全事業等連絡会で、以前より何度
となく調査・保全活動をしてきたもの。これで可児
市の天然記念物は計11件となった。この記事は
同5月28日の中日新聞に掲載された。

鳩吹山地内・シデコブシの保全活動

平成19年 3月9日(金)

- ①立ち入りを制限するためのロープ張り
 - ②流水により崩れた沢の補修活動
- 参加者 23名



鳩吹山地内シデコブシ保全活動

平成19年 4月14日(土) 9:00~12:00

ともの会から14名、一般から1名の全15名が参加。シデコブシを観察しやすくするための伐採と以前から継続の作業で沢の補修を行った。



平成19年 5月12日(土) 9:00~12:00

ともの会から18名、土田財産区管理会から8名の計26名で作業を行った。沢の強い流れで根が洗われて倒れそうなシデコブシを3月の工法と同様に土嚢などを使って補修作業を実施したもの。



シデコブシ自生地の現状

平成24年 3月末現在、シデコブシ自生地の管理は、地権者である土田財産区に移されている。3月28日現在のシデコブシ自生地入口の様子、植生の回復を図るためバリゲードが造られ、人が



頑丈なバリゲードで立ち入る事を禁止している(平成24年3月)

立入る事を禁止している。3~5年間、人の立ち入りが、無ければ、自然は回復するとしている。



シデコブシ(平成22年)

シデコブシの自生地保護のいきさつ

シデコブシは、「生きた古代生物」と言われ、東海地方を中心とした限られた範囲に分布する日本の固有種で、湿原の周辺や溪流沿いに自生するモクレン科の落葉低木~高木樹、環境省レッドデータブックに「絶滅危惧Ⅱ類」としてリストアップされている。平成16年8月可児市の鳩吹山診断事業で、チャート岩盤上に形成された湿地帯に自生するなど、他の自生地には無い生育環境にあり極めて貴重なものであることが判明したため、シデコブシ自生地の保全に取り組んだ。

(「NPO法人シデコブシを守る会」の資料を参照)

- ①平成13年 土田財産区、シデコブシ群生地確認
- ②平成15年4月 「鳩吹山ともの会」設立
- ③平成16年8月 可児市による鳩吹山の健康診断
- ④平成17年4月 シデコブシ自生地の調査実施
- ⑤平成17年10月 シデコブシ自生地の保全に向けた研究会(市観光課、土田財産区、鳩吹山ともの会)
- ⑥平成17年12月 シデコブシ天然記念物指定調査活動
- ⑦平成17年 シデコブシの保全活動
- ⑧平成18年5月21日 シデコブシ天然記念物に指定
土田財産区の人が代表で、保全について話を進めるものの合意に至らない(5~6回の会議が持たれた)
〈市よりともの会とは、別の会を作るよう依頼される〉
- ⑨平成19年11月 「シデコブシを守る会」が発足
その後、法人化し「NPO法人シデコブシを守る会」に
- ⑩NPO法人は解散して、現在は土田財産区管理となっている。

鳩吹山ともの会の登山記録

	年月	行き先	標高	県・市町村名
H 15 年 度	H15年5月	下呂御前山	1,412m	岐阜県下呂市
	H15年9月	白草山	1,641m	岐阜県下呂市
	H15年10月	尾高山	2,213m	長野県上村
	H15年11月	恵那山	2,190m	長野・岐阜県境
	H15年12月	猿投山	629m	愛知県豊田市
	H16年1月	鳳来寺山	684m	愛知県豊田市
	H16年2月	納古山	633m	岐阜県七宗町
H16年3月	宇連山	929m	愛知県新城市	



H15/5 下呂御前山登山

	年月	行き先	標高	県・市町村名
H 16 年 度	H16年4月	燕山	1,068m	岐阜県関市
	H16年6月	初糠山	1,744m	岐阜県飛騨市
	H16年8月	池山	1,773m	長野県駒ヶ根市
	H16年9月	毘沙門岳	1,385m	岐阜県白鳥町
	H16年11月	三周ヶ岳	1,292m	岐阜県坂内村
	H16年12月	築谷山	1,214m	岐阜県下呂市
	H17年1月	本宮山	789m	愛知県豊川市
	H17年2月	夏焼城ヶ山	889m	愛知県稲武町
	H17年3月	寧比曾岳	1,121m	愛知県豊田市



H16/8 池山登山

	年月	行き先	標高	県・市町村名
H 17 年 度	H17年4月	養老山	859m	岐阜県養老町
	H17年5月	御前岳	1,504m	静岡市裾野市
	H17年8月	天狗岳	2,646m	長野県小海町
	H17年10月	兜岳・鎧岳	917・894m	奈良県曽爾村
	H17年11月	六甲山	931m	兵庫県神戸市
	H17年12月	石巻山	356m	愛知県豊橋市
	H18年1月	満観峰	470m	静岡県静岡市
	H18年2月	熊野古道(ツツヲ峠越え)	350m	三重県大紀町
	H18年3月	朝熊ヶ岳	555m	三重県伊勢市



H17/8 天狗岳登山

	年月	行き先	標高	県・市町村名
H 18 年 度	H18年4月	三ツ峠山	1,785m	山梨県都留市
	H18年6月	入笠山	1,955m	長野県伊那市
	H18年9月	焼岳	2,393m	長野県松本市
	H18年10月	大菩薩峠	2,057m	山梨県甲州市
	H18年11月	岩古谷山	799m	愛知県設楽町
	H18年12月	熊野古道(馬越峠越え)	350m	三重県尾鷲市
	H19年1月	熊野古道(八鬼山越え)	627m	三重県尾鷲市
	H19年2月	浜石岳	707m	静岡県由比町
	H19年3月	衣笠山	278m	愛知県田原市



H18/4 三ツ峠山登山

	年月	行き先	標高	県・市町村名
H 19 年 度	H19年4月	鶏冠山・竜王山	825m	滋賀県日野町
	H19年5月	茅ヶ岳・金ヶ岳	1300/1764	山梨県韮崎市
	H19年6月	甘利山・千頭星山	1,672m	山梨県韮崎市
	H19年7月	燕岳	2,763m	長野県大町市
	H19年9月	武奈ヶ岳	1,214m	滋賀県大津市
	H19年10月	三方岩岳・野谷荘司山	1,736m	石川県白山市
	H19年11月	明神山	1,016m	愛知県新城市
	H19年12月	岩湧山	897m	大阪府河内長野市
	H20年1月	神石山	325m	愛知県豊橋市
	H20年2月	治部坂高原・蛇峠山	1,664m	長野県阿智村
	H20年3月	徳倉山・鷲頭山	392m	静岡県沼津市



H19/4 鶏冠山～竜王山登山

	年月	行き先	標高	県・市町村名
H 20 年 度	H20年4月	日本ヶ塚山	1,107m	愛知県豊根村
	H20年5月	大台ヶ原山	1,695m	奈良県上北山
	H20年6月	高ポッチ山・鉢伏山	1,929m	長野県塩尻市
	H20年8月	白山	2,702m	石川県白山市
	H20年10月	大川入山	1,908m	長野県阿智村
	H20年11月	大日ヶ岳	1,709m	岐阜県郡上市
	H20年12月	妙法ヶ岳	667m	岐阜県揖斐川町
	H21年1月	金毘羅山	383m	岐阜県関市
H21年3月	富幕山	563m	静岡県三ヶ日町	



H20/8 白山登山

	年月	行き先	標高	県・市町村名
H 21 年 度	H21年4月	花房山	1,190m	岐阜県揖斐川町
	H21年5月	天蓋山	1,527m	岐阜県飛騨市
	H21年6月	丸黒山	1,956m	岐阜県高山市
	H21年7月	矢島湿原・車山	1,925m	長野県諏訪市
	H21年8月	金峰山・瑞ガキ山	2,595m	山梨県川上村
	H21年9月	御嶽山(飛騨頂上)	2,800m	岐阜県高山市
	H21年10月	冠山・金草山	1,256m	岐阜県揖斐川町
	H21年12月	秋葉山	866m	静岡県浜松市
	H22年1月	尾張富士・本宮山	292m	愛知県犬山市
	H22年3月	西方ヶ岳	764m	福井県敦賀市



H21/8 金峰山・瑞ガキ山登山

	年月	行き先	標高	県・市町村名
H 22 年 度	H22年4月	金時山	1,212m	神奈川県御殿場市
	H22年5月	伊吹北尾根	1,083m	岐阜県揖斐町
	H22年7月	金剛堂山	1,650m	富山県南砺市
	H22年8月	火打山・妙高山	2,462m	新潟県妙高市
	H22年9月	萩原御前山	1,646m	岐阜県下呂市
	H22年10月	初糠山	1,744m	岐阜県飛騨市
	H22年11月	鍋倉山	1,050m	岐阜県揖斐川町
	H22年12月	三上山	432m	滋賀県野洲市
	H23年2月	関南アルプス	383m	岐阜県関市
	H23年3月	八高山	832m	静岡県島田市



H22/7 金剛堂山登山

	年月	行き先	標高	県・市町村名
H 23 年 度	H23年4月	野坂山	914m	福井県敦賀市
	H23年5月	御座山	2,112m	長野県北相木村
	H23年6月	猪臥山	1,519m	岐阜県高山市
	H23年7月	富士見台高原	1,739m	長野県阿智村
	H23年8月	立山	3,015m	富山県立山町
	H23年12月	鳩吹山	313m	岐阜県可児市
	H24年1月	鶺鴒沼三山	296m	岐阜県各務原市
	H24年3月	堀坂山	757m	三重県松阪市



H23/8立山登山

	年月	行き先	標高	県・市町村名
H 24 年 度	H24年4月	陣馬形山	1,145m	長野県中川村
	H24年5月	御在所岳	1,212m	三重県菟野町
	H24年6月	高島トレイル	824m	滋賀県
	H24年7月	赤兎山	1,639m	福井県勝山市
	H24年8月	薬師岳	2,926m	富山県富山市
	H24年9月	尾高山	2,212m	長野県飯田市
	H24年10月	釈迦ヶ岳	1092m	三重県菟野町
	H24年11月	鳳来寺山	684m	愛知県新城市
	H25年1月	弥勒山・大谷山・道樹山	437m	愛知県春日井市
	H25年2月	高社山	417m	岐阜県多治見市
	H25年3月	愛宕山	924m	京都府亀岡市



H24/5 御在所岳登山

「鳩吹山ともの会」の主な出来事(年表)

年度	国内外の主な出来事	可児市の主な出来事	「鳩吹山ともの会」の主な出来事
H15年 (2003)	<ul style="list-style-type: none"> ・[首相:小泉純一郎] ・米-イラク戦争 ・ス^ラ-ス^ラムコロンビア 空中分解事故 ・宮城県北部地震 	<ul style="list-style-type: none"> ・[可児市長:山田 豊] ・可児市議会議員選挙で 電子投票実施 	「鳩吹山ともの会」設立総会 平成15年4月27日(日)／帷子公民館において、 待望の鳩吹山ともの会設立総会が開かれた。
H16年 (2004)	<ul style="list-style-type: none"> ・[首相:小泉純一郎] ・アテネ五輪 ・イト^ナネ^ア・ス^ラ島沖地震 ・新潟県中越地震 	<ul style="list-style-type: none"> ・[可児市長:山田 豊] ・可児市と兼山町合併調印 	7月3日鳩吹山パトロールボランティア活動開始式 第1回土田保育園々児、鳩吹山登山引率のボランティア実施3/4
H17年 (2005)	<ul style="list-style-type: none"> ・[首相:小泉純一郎] ・愛・地球博覧会 ・マンション耐震強度偽装問題 ・JR福知山線脱線事故 	<ul style="list-style-type: none"> ・[可児市長:山田 豊] ・可児市と兼山町合併 [新可児市誕生] ・花フェスタ2005ぎ^ふ開催 ・川合・中恵土連絡所開設 ・東海環状自動車道開通 	鳩吹山遊歩道自然環境保全事業等連絡会のうちの シデコブシ保全活動始まる6/15 10月29日美濃加茂高校ホ ^ラ ンティア活動支援兼環境美化活動実施 第1回土田保育園・兼山保育園合同鳩吹山登山支援2/24 鳩吹山位置表示板設置 <可児市商工観光課>3/9 鳩吹山大天神東屋火遊び?事件3/9~3/10
H18年 (2006)	<ul style="list-style-type: none"> ・[首相:小泉純一郎] ・サッカーワールド^カップドイツ大会 ・第1回WBCで日本が優勝 	<ul style="list-style-type: none"> ・[可児市長:山田 豊] ・市立保育園園庭開放 ・ファ^マーズ^マケットオープン ・介護予防のつどい開催 	鳩吹山シデコブシ自生地、市天然記念物に指定5/22
H19年 (2007)	<ul style="list-style-type: none"> ・[首相:安倍晋三] ・年金記録問題 ・食品偽装問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・[可児市長:山田 豊] ・鳩吹山火災から20年 ・市議会議員選挙 ・新学校給食センター始動 ・ザ企業展in可児開催 	可児観光ボランティアガイド発足5/22 土田小学校カタクリの種まき支援始まる5/29 応急手当普及講習会(普通救命講習I)受講 7/24 「たから幼稚園年長組山登り」登山支援3/11
H20年 (2008)	<ul style="list-style-type: none"> ・[首相:福田康夫] ・北京五輪 ・ノーベル賞日本人4人受賞 ・洞爺湖サミット 	<ul style="list-style-type: none"> ・[可児市長:山田 豊] ・多文化共生センター(フル^ビア) 開館 ・レジ袋有料化スタート 	広見小5年生・鳩吹山登山支援5/8 可児市国際交流協会主催「鳩吹山登山」支援6/8
H21年 (2009)	<ul style="list-style-type: none"> ・[首相:麻生太郎] ・新型インフル^ンザ全世界で流行 ・米国オバマ政権発足 ・民主党に政権交代 	<ul style="list-style-type: none"> ・[可児市長:山田 豊] ・少年の主張可児大会開催 ・電話で予約バス試験運行 	カヤバ ^ン 新入社員研修「鳩吹山登山」支援4/24 土田小学校3年総合学習「鳩吹山マスターに聞く」始まる10/30
H22年 (2010)	<ul style="list-style-type: none"> ・[首相:鳩山由紀夫] ・リー^マン^ショックで世界大不況 	<ul style="list-style-type: none"> ・[可児市長:山田 豊] ・電話で予約バス本格運行 ・可児市史全6巻完成 ・新市長に富田成輝さん ・7月15日豪雨災害 	可児市と協働作業による鳩吹山緑化還元活動に 山田可児市長より挨拶を頂く10/14 平成22年度岐阜県視聴覚コンクールに於いて、『岐阜県社会教育 視聴覚連絡協議会長賞』を受賞した。2/6 3月29日岐阜金華山サポーターズと初の交流を持つ。3/29
H23年 (2011)	<ul style="list-style-type: none"> ・[首相:菅 直人] ・東日本大震災 ・タイ大洪水 	<ul style="list-style-type: none"> ・[可児市長:富田成輝] ・歩こう可児302スタート 	遊歩道以外の進入禁止の看板設置9/28 平成23年度視聴覚作品コンクールで『岐阜県社会教育視聴覚 連絡協議会長賞』を昨年に引き続き受賞した。2/4
H24年 (2012)	<ul style="list-style-type: none"> ・[首相:野田佳彦] ・ロンドン五輪 ・ノーベル賞受賞(中山伸弥氏) 	<ul style="list-style-type: none"> ・[可児市長:富田成輝] ・可児市制30周年 ・ぎ^ふ清流国体 ・可児駅前大橋が完成 ・新坂戸テニスコर्टが完成 	岐阜・金華山サポーターズとの交換会を行った。4/3 可児市制30周年記念式典にて「鳩吹山登山道の整備と保全、 植物の保護や巡回パトロール」が評価されて感謝状授与5/6 「小さな親切」実行章の受賞6/7
H25年 (2013)	<ul style="list-style-type: none"> ・[首相:安倍晋三] 	<ul style="list-style-type: none"> ・[可児市長:富田成輝] ・いじめ防止条例施行 	創立10周年記念式典・祝賀会(於シティホテル美濃加茂)

「鳩吹山ともの会」の組織の変遷

グループ名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	
活動グループ	自然保護	○	○	○	○				○	○	○	○	
	環境保全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	環境美化	○	○	○	○								
	登山	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	登山・自然観察			(H19.4～10まで)		○							
	巡回活動		○	○	○								H16.7.3ハートルホランティア活動開始
	パトロール			(H19.11から)		○	○	○	○	○	○	○	
事務局	地域支援								○	○	○	○	
	観光ボランティア			(H19.11から)		○	○	○					
	ホームページ		○	○	○	○							H16.9月ホームページを開設した
	会報発行	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	新事業検討							○					
	ウォーキング										(○)		H24年に6回実施した
会員数(人)		63	129	175	198	209	107	112	103	91	88	91	各年4月1日現在の人数

「鳩吹山ともの会」の設立総会(平成15年4月27日)、平成25年4月で、設立10周年となる。

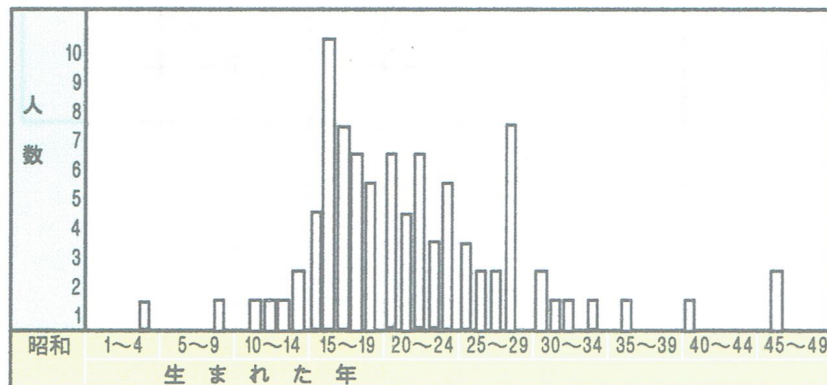
各グループの主な活動 (平成24年度)

グループ名	主な活動内容	人員構成	
活動グループ	自然保護グループ	年間を通して鳩吹山及びその周辺の植生の保護を目指す 自然観察会を適宜行い、植生保護の基礎を作る	(リーダー等) 2 どもの会 会員
	環境保全グループ	鳩吹山の自然保護を目的とした環境保全活動、山座川の清掃等 可児市長の要請により、遊歩道の整備、枯木の伐採等の整備を行う	2 〃
	登山グループ	登山を通じての他山の自然環境視察や環境保護思想の普及促進等 親睦とチームワークづくり	(登山計画検討委員) 14 〃
	パトロールグループ	鳩吹山の自然保護を目的とした登山マナーの啓発活動等	(鳩吹山パトロールボランティアに登録) 34 〃
	地域支援グループ	外部団体の支援活動(保育園、小学校等の登山・学習の地域支援活動) 可児市観光ボランティアガイド「鳩吹山コース」の案内等	5 〃 7 --- (観光ボランティアガイドに登録) (各グループのメンバーは重複あり)

「鳩吹山ともの会」の人員構成 H24.10.5 現在

		若葉台 8、長坂 6、愛岐ヶ丘 2、緑ヶ丘 4、鳩吹台 8、虹ヶ丘 1		男性	女性
岐阜県	74	可児市	65	41	24
		美濃加茂市	6	3	3
		多治見市	3	1	2
		名古屋市	5	3	2
愛知県	13	犬山市	2	2	
		江南市	3	2	1
		小牧市	1		1
		春日井市	2	1	1
計	87	87	53	34	

「鳩吹山ともの会」の年齢別構成 (H24.10.5現在) 87名



あとがき

鳩吹山ともの会は、平成25年4月27日で、発足10周年を迎える。10周年を記念して発行される記念冊子である。資料の蓄積は少なく、発足以来、隔月で発行されている会報紙をベースとして、会報紙のデータ、関連資料、写真等の提供を受けて、30ページ程の冊子を制作する事が出来た。発行部数は130部としてパソコンで原稿を作成して、コピーで制作するなど手作り感の多い記念冊子であります。

鳩吹山ともの会・10周年記念誌

鳩吹山ともの会
10年のあゆみ

平成25年5月31日 発行

発行者	三宅 健治 (名誉代表)
編集者	鳩吹山ともの会・事務局
編集責任者	吉田博行
編集リーダー	河合 麓

創立十周年記念式典を終えて

薫風、五月十二日、シティホテル美濃加茂に於いて四十名の会員および可児市長様、そして地権者団体代表のみなさまに、ご臨席を賜わり盛大な記念式典が行われました。

続いて日本山岳連盟副指導委員長（公認ガイド・登山家）瀧根正幹様による記念講演、更にはボランティアグループ「あすなるの会」出演の歌と踊りを楽しむなど意義深い一日でございました。

また、パーティーでは、酒を酌み交わしながらの交流、交歓は、嬉しいひと時でした。私たちは自然保護、保全のため「和」と「絆」を大切に活動して参りました。その積み重ねが今日の慶びに繋がったものと存じます。また、この式典は更なる飛躍の出発点でもあります。それぞれが心新たに自然に優しい活動に努めたいものです。併せて当会の十年の歩みを『鳩吹山とも会十年のあゆみ』として小冊子にまとめましたのでご収納ください。皆様の「健勝」、「多幸」をお祈り申し上げます。

最後に、今式典の執行にご尽力頂きました皆様に、敬意と感謝を申し上げます。

平成二十五年五月吉日

名誉代表 三宅健治

代表 吉田博行